

# 改訂版「お茶大インデックス」(雇用環境整備指標)を用いた教育研究機関の雇用環境評価 2023年度 結果

改訂版「お茶大インデックス」を用いた教育研究機関の雇用環境評価を実施した。調査概要は以下の通り。

調査実施日	: 2024年5月8日(水)～2024年6月10日(月)
調査方法	: Excelで回答可能な改訂版「お茶大インデックス」をメールにて送付し、Googleフォームを用いて評価結果と活用方法についてのアンケート調査を実施。
配布機関	: 女性研究者支援モデル育成事業・女性研究者養成システム改革加速事業・女性研究者研究活動支援事業採択機関、およびダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ女性研究者研究活動支援事業採択機関のうち連絡が可能であった105機関
回収数	: 32機関 (回収率30.5%)

## 改訂版「お茶大インデックス」評価結果 32機関の回答割合と特徴

32機関の改訂版「お茶大インデックス」の評価結果について、50項目それぞれに3つの選択肢の回答割合を算出した。各項目の回答割合を用いて図1を作成した。

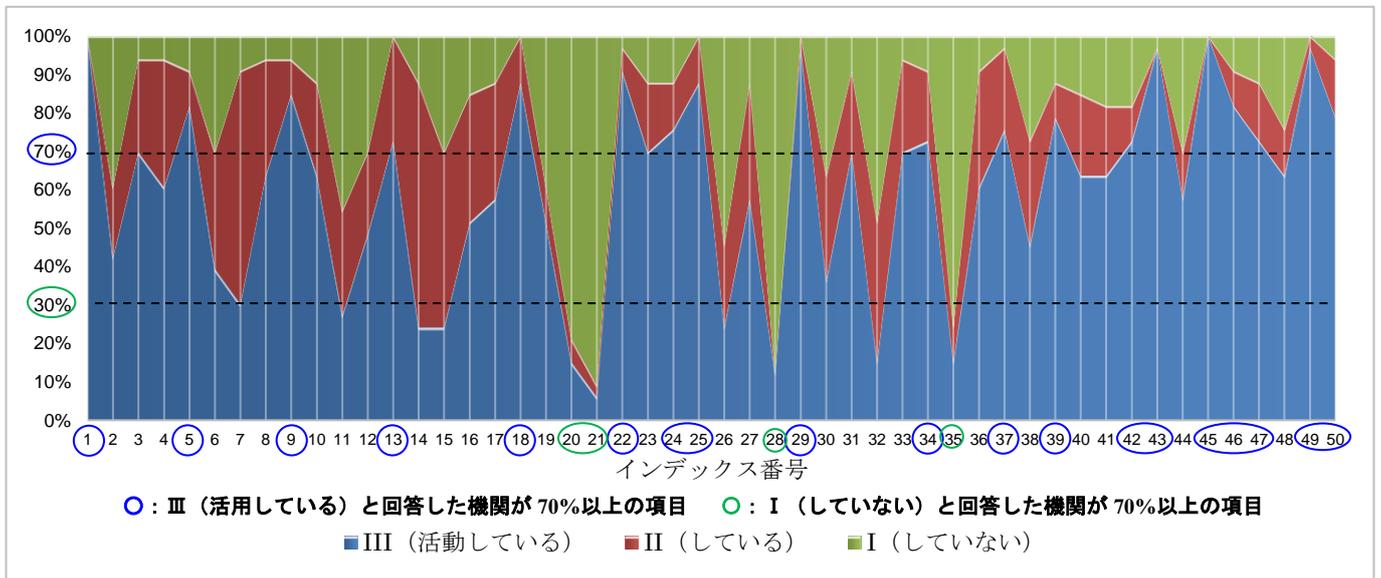


図1. お茶大インデックス評価結果 (全33機関、回答割合)

32機関における活用度の高い取組(『III.活用している』と回答した機関が70%以上の項目)、低い取組(『I.していない』と回答した機関が70%以上の項目)は以下の通り。(カッコはインデックス番号を示す)

活用度の高い取組(『III.活用している』の回答割合が70%以上)	
(1) 女性研究者を支援する組織(本部、室、センター、部門など)の設置	(34) 子育てや介護に関わる手続きや利用可能な支援を紹介するための冊子(WEBでの紹介含む)作成
(5) 女性を積極的に採用する制度や仕組みの導入	(37) 女性研究者を支援するための他キャンパス・他機関・地域とのネットワーク連携、コンソーシアム設置
(9) 女性研究者を支援するための予算の配分	(39) 女性研究者増に関わる女子中高生、女子大学生向け授業・セミナー(ラボ見学、インターンシップ含む)の開催
(13) 男性が育児休業制度を積極的に取得することを周知・促進	(42) 女子中高生向け女性研究者増に関わるイベント・シンポジウムの開催
(18) 保育施設(一時保育含む)やベビーシッター手配のための支援(経費支援・利用補助券配布含む)	(43) 機関内向け研究者支援に関わる情報発信(メール・広報誌・掲示・WEB)
(22) 育児期における柔軟な勤務体制の導入(時短勤務、在宅勤務など)	(45) ハラスメントを防止するための取組
(24) 在宅勤務を可能にするユビキタス環境整備(ネット対応、TV・WEB会議等)	(46) 男性向け子育て支援に関する意識啓発
(25) 次世代育成支援対策行動計画や女性活躍推進対策行動計画、一般事業主行動計画の機関内外への周知	(47) 管理職向け働き方や両立支援に関する意識啓発
(29) 研究者を支援するための研究補助者(支援員)の配置	(49) ダイバーシティ&インクルージョンを理解するための意識啓発
	(50) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発

**実施度の低い取組** (『I.していない』の回答割合が70%以上)

- |  |  |
|--|--|
| (20) 学童保育施設の設置 (期間限定開設、他機関との連携も可)      | (35) 女性研究者を支援(研究補助、事務補助、子育て補助など)するための人材(人財)バンク構築 |
| (21) 子育てを支援するための機関内宿泊施設の整備 (他機関との連携も可) |  |
| (28) 学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制の導入       |  |

活用度の高い取組(『III.活用している』の回答割合が70%以上)を示した項目は、「1. 全学的な支援体制(組織・勤務体制(心おきなく帰宅できる体制))」におけるインデックス番号(1)、(5)、(9)、(13)の4項目、「2. 女性研究者支援(子育て支援・研究教育支援)」におけるインデックス番号(18)、(22)、(24)、(25)、(29)の5項目、「3. 情報支援(情報支援とネットワーク構築)」におけるインデックス番号(34)、(37)の2項目および「4. 意識啓発(次世代育成の取組・意識啓発の取組)」におけるインデックス番号(39)、(42)、(43)、(45)、(46)、(47)、(49)、(50)の8項目があり、計19項目となった。

実施度の低い取組(『I.していない』の回答割合が70%以上)を示した項目は、「2. 女性研究者支援(子育て支援・研究教育支援)」におけるインデックス番号(20)、(21)、(28)の3項目および「3. 情報支援(情報支援とネットワーク構築)」におけるインデックス番号(35)の1項目があり、計4項目となった。

この調査結果における「活用度の高い取組」や「実施度の低い取組」の特徴は、各教育研究機関における雇用環境の整備状況を反映している。活用度の高い取組の項目では、特に女性研究者や子育て支援に関連する取組が多く、多くの機関で積極的に活用されていることがわかった。これらの取組は、女性研究者が研究活動を円滑に行うための体制や支援制度が整備されている点が特徴である。女性研究者を支援する組織の設置や、積極的な採用制度の導入(項目1、5)は、女性のキャリアを後押しする具体的な制度が多く、多くの機関で広く採用されていることを示している。これにより、機関全体で女性のリーダーシップや研究活動参加を促進する意識が高まっている。

また、男性の育児休業取得の促進(項目13)や、保育施設の支援、柔軟な勤務体制の導入(項目18、22)は、家庭と仕事の両立を支える体制が整備されていることを示している。特に、育児期における柔軟な働き方の導入や、在宅勤務を可能にする環境整備(項目24)は、育児支援と働き方改革が並行して進んでいることを示した。さらに、研究補助者の配置(項目29)や、他機関とのネットワーク連携(項目37)は、女性研究者がより充実した研究環境で活動できるように支援体制が整備されていることを示している。また、ハラスメント防止(項目45)やワーク・ライフ・バランス実現のための意識啓発(項目50)、ダイバーシティ&インクルージョンに関する意識啓発(項目49)など、職場環境の多様性や働き方に対する意識向上に向けた取り組みが進展していることが特徴である。特に、管理職向けの意識啓発(項目47)は、上層部の理解と協力を得るための重要な要素となっている。

一方、実施度の低い取組の項目は、まだ多くの機関で整備が進んでいない、もしくは導入が困難とされることである。その中、学童保育施設や宿泊施設の整備(項目20、21)は、多くの機関で実施が遅れている可能性がある。これらはスペースや資金が必要となるため、導入のハードルが高いことが特徴である。また、学生・院生向けの育児奨学金制度(項目28)は、多くの機関で実施されておらず、子育てを行う学生に対する支援体制の構築がまだ十分でないことがわかった。これは、研究者だけでなく、学生への支援が課題となっている。さらに、女性研究者を支援するための人材バンクの構築(項目35)は、人的資源の確保が難しく、多くの機関でまだ整備されていないことがわかった。支援体制を充実させるには、人材の確保と適切な運用が課題である。

以上を踏まえ、活用度の高い取組は、女性研究者や育児支援に関連する制度が中心であり、多くの機関で制度の整備が進んでいることが確認できた。しかし、物理的施設の整備や学生向けの支援、人材リソースの確保に関しては依然として課題が残っており、今後の改善が求められている。このように、雇用環境整備の進展は段階的であり、重点的な取組をさらに広げていく必要がある。

## 改訂版「お茶大インデックス」2023年度 評価結果 総合得点一覧

改訂版「お茶大インデックス」2023年度の評価結果（表1）を総合得点の降順に示す。総合得点の平均点は69.7点（前回調査時より1.2点増）、最高点は89点（4点増）、最低点は37点（3点減）であった。

表1. 改訂版「お茶大インデックス」 評価結果 （総合得点降順）

ID	「お茶大インデックス」 カテゴリー別得点							
	総合得点	1.全学的な支援体制		2.女性研究者支援		3.情報支援	4.意識啓発	
		組 織	勤務体制	子育て支援	研究教育支援	情報支援とネットワーク構築	次世代育成の取組	意識啓発の取組
007	89	17	10	11	20	8	8	15
035	86	17	11	7	21	9	5	16
026	85	17	11	7	16	10	8	16
076	84	16	9	10	16	9	8	16
045	82	16	8	8	16	12	6	16
025	81	14	6	8	18	11	8	16
086	81	18	2	8	20	9	8	16
017	79	18	11	6	17	10	3	14
047	77	18	7	7	14	9	8	14
051	75	16	8	4	13	10	8	16
074	75	13	8	9	17	7	7	14
033	74	14	8	10	15	8	8	11
080	74	14	8	5	20	9	6	12
お茶の水女子大学	73	15	10	5	15	10	8	10
062	72	12	8	4	14	12	8	14
068	71	11	8	7	15	6	8	16
060	69	12	6	7	13	8	8	15
082	69	13	6	9	13	7	8	13
083	69	17	7	5	9	8	8	15
061	68	12	10	6	13	5	6	16
077	68	13	5	4	15	8	8	15
087	68	13	6	6	18	7	5	13
030	67	10	10	6	17	8	4	12
069	65	14	5	4	15	11	1	15
041	63	11	7	8	14	8	0	15
003	61	11	7	3	15	8	3	14
022	61	7	7	10	14	9	0	14
090	61	14	9	7	11	5	8	7
056	60	9	8	4	11	4	8	16
063	57	14	5	3	10	8	5	12
089	51	13	4	5	11	6	0	12
059	49	12	2	4	7	6	8	10
088	37	8	4	2	9	2	8	4

自己評価結果は「機関名を表示しない」ことを条件に本学に提出いただいているため、機関名の表示は本学のみとし、その他の機関は全てID表示としている。本調査を実施するにあたり、32機関の教育研究機関の皆様にご協力を賜った。心より感謝の意を表する。